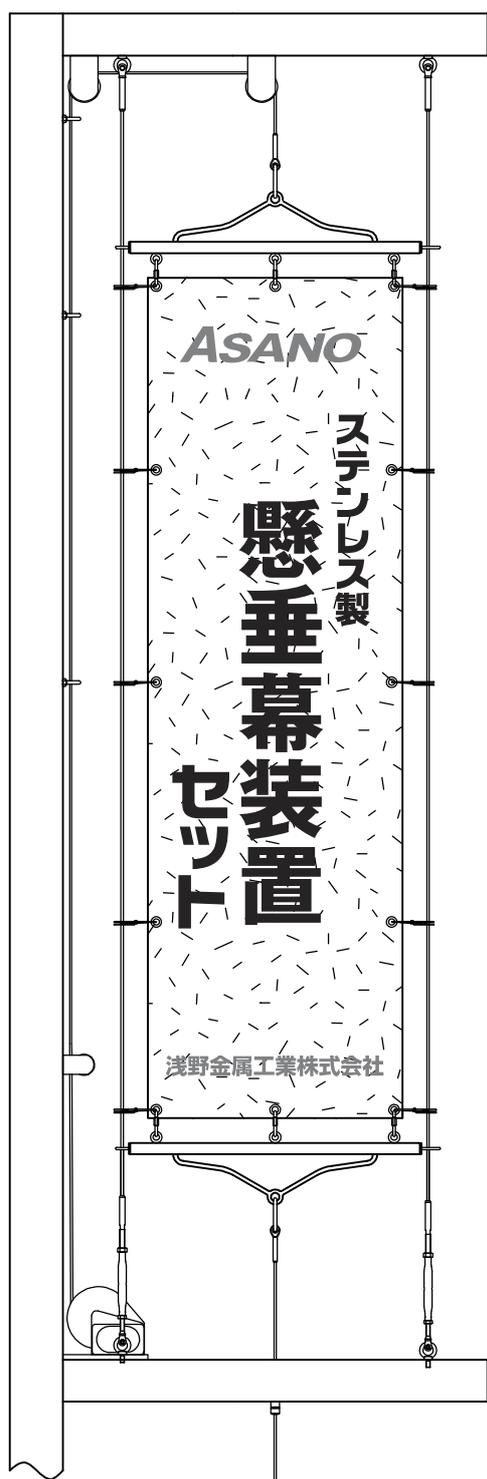


ASANO

懸垂幕装置セット

取扱説明書



設置される業者様へ

- 本製品を正しく設置して頂くためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、設置後はお使いになるお客様へこの取扱説明書をお渡しください。

ご使用されるお客様へ

- 本製品を正しくご使用して頂くためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後もご使用される方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

ASANO

浅野金属工業株式会社

〒955-0803 新潟県三条市月岡2866
TEL.0256-33-0101 FAX.0256-33-0096

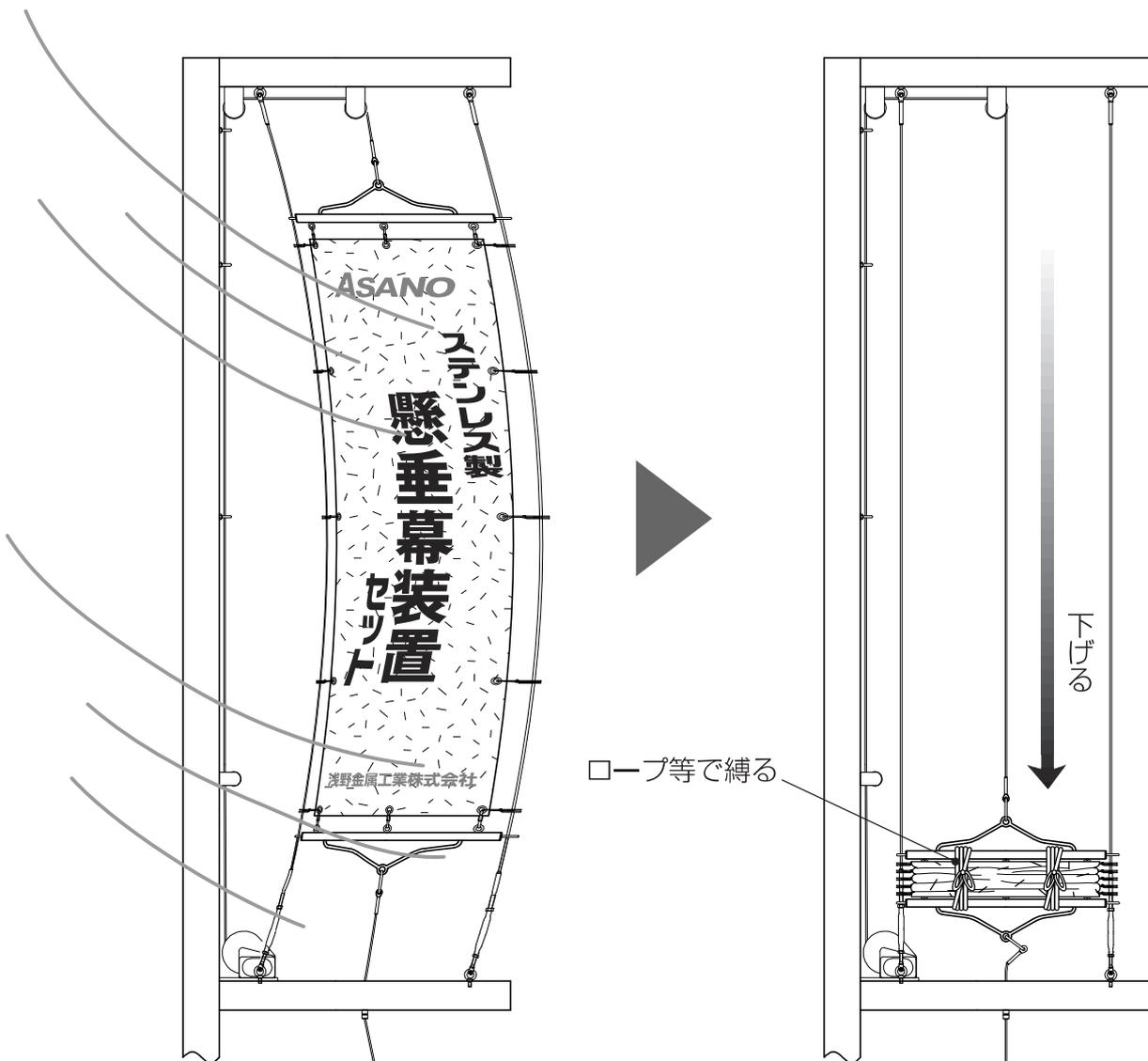
安全のために注意していただきたいこと

懸垂幕装置を正しく安全にお使い頂くために、また、お客様や回りの方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、本書をよく読んで理解し、本製品をお取り扱いください。

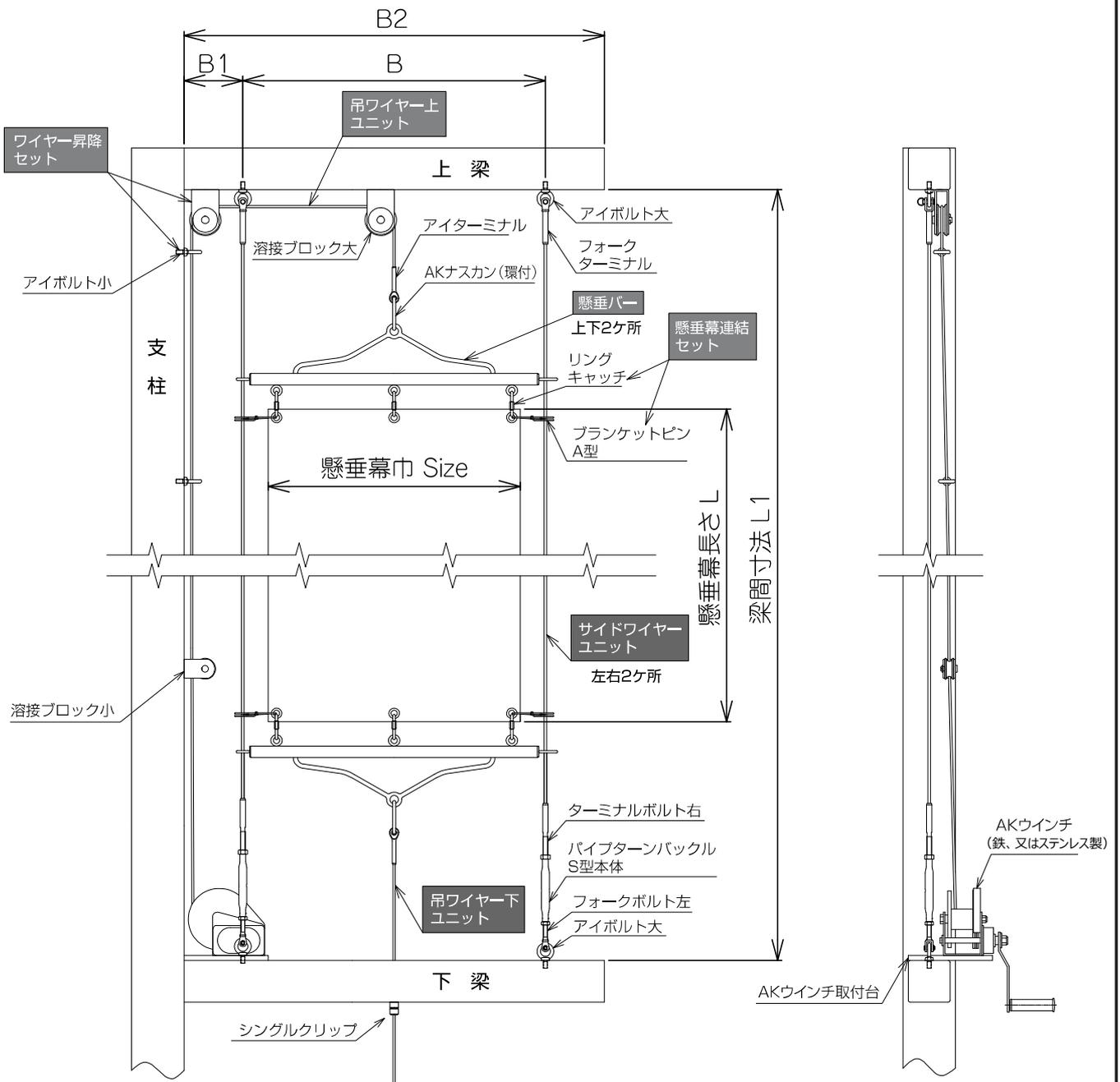
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- 台風や風の強い日は、懸垂幕を下端まで下げて、ロープ等で縛って固定してください。風力によって懸垂幕やワイヤー、各部品等が破損し、落下等の事故の原因になります。



各部名称及び寸法図



No.	懸垂幕巾 Size	懸垂幕 長さ L	梁間長さ L1	B	B1	B2
AK48001	600	2000	L+1.1m	720	140	1000
AK48002	900	3000	以上	1020		1300
AK48003	1200	4000	L+1.5m 以上	1320		1600
AK48004	1500	5000		1620		1900
AK48005	1800	6000		1920		2200

※使用する金具はステンレス製です。AKウインチのみ、鉄製とステンレス製があります。

懸垂幕装置の設置方法

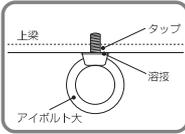
1 サイドワイヤーユニットの取付

①サイドワイヤーの取付位置を決めます。
(B、B1寸法を確認します。)

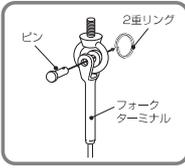
注1 サイズ表参照

②上・下梁にアイボルト大と同じねじ径でタップ加工をします。
更に溶接を行います。

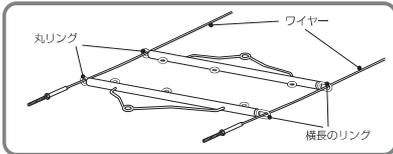
注1 サイズ表参照



③上梁側のアイボルト大にフォークターミナルを取り付けます。

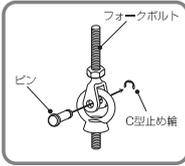


④懸垂バー両端のリングにサイドワイヤーを通します。
(懸垂バーの方向を図のようにする。)

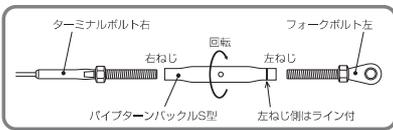


※中間バーを使う場合は**注2**を参照願います。

⑤下梁側のアイボルト大にフォークボルトを取り付けます。
(フォークボルトはC型止め輪)



⑥ターミナルボルト右とフォークボルト左をパイターンバックルS型をねじに合わせ、回転させてサイドワイヤーを緊張させます。



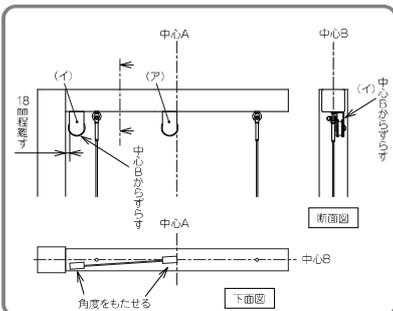
注意

- ワイヤーを張り過ぎないでください。
※必要以上に張り過ぎると、連結している金具が変型したり、上下の梁が曲がる恐れがあります。

2 ワイヤー昇降セットの取付

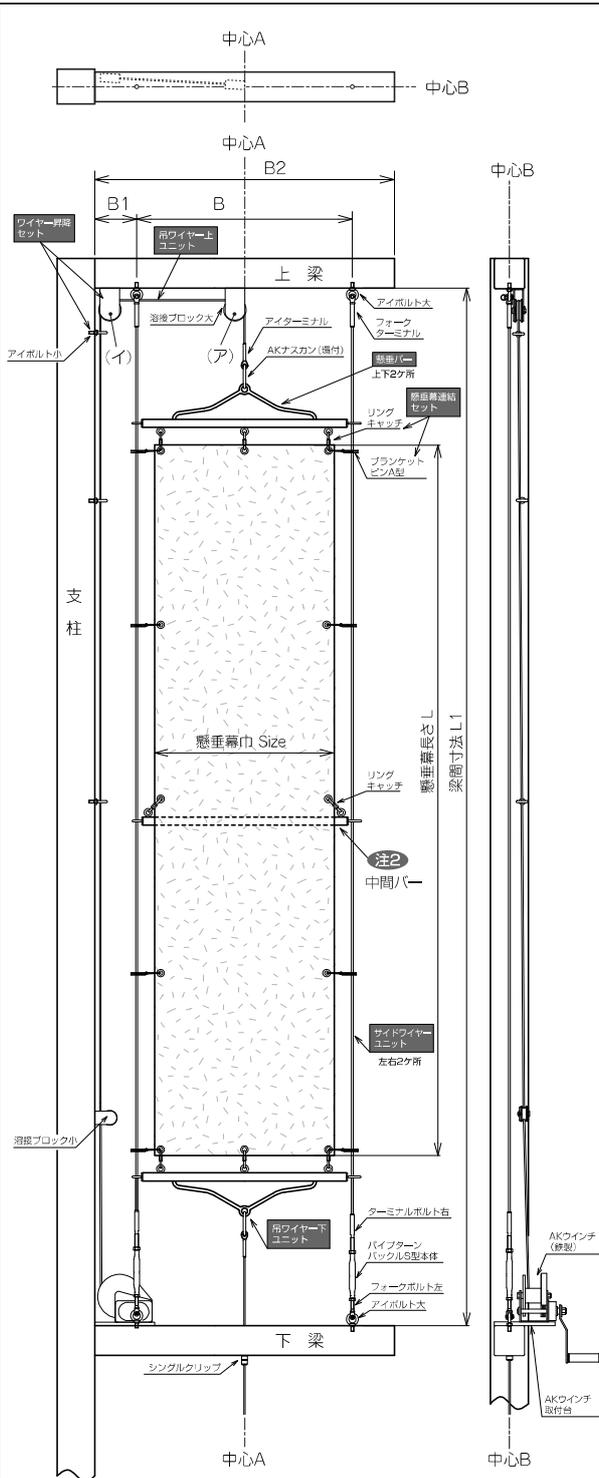
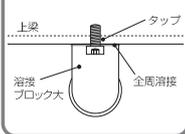
①上梁に溶接ブロック大2台の取付位置を決めます。

(ア)の滑車は、中心A、Bに滑車側面を合わせた位置に取り付けます。
(イ)の滑車は、鉄柱より18mm程離れた位置で側面図中心Bからずれた位置に取り付けます。
(ア)・(イ)の滑車は、下面図のようにサイドワイヤーに干渉しないように角度をもたせてください。



②上梁に溶接ブロックと同じねじ径でタップ加工をします。
更に溶接を行います。

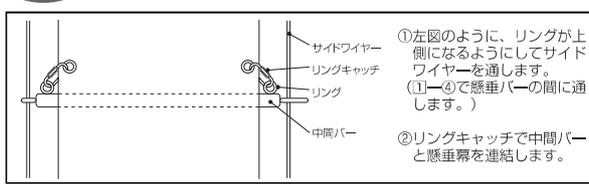
注1 サイズ表参照



注1 サイズ表

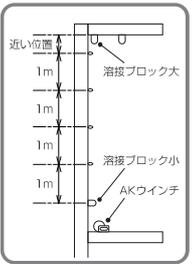
型番	懸垂幕巾 Size	B	B1	ワイヤーSize		アイボルト		溶接ブロック		下梁貫通穴
				サイドワイヤー	吊ワイヤー上下	大	小	大	小	
AK48001	600	720	140	φ5	φ6	M10		75	50	φ7穴
AK48002	900	1020		(1×19)	(7×19)			(M14)	(M12)	
AK48003	1200	1320				M8				
AK48004	1500	1620		φ6	φ8	M12		100	75	φ8穴
AK48005	1800	1920		(1×19)	(7×19)			(M16)	(M14)	

注2 中間バーを使う場合



- ①左図のように、リングが上側になるようにサイドワイヤーを通します。
(①-④で懸垂バーの間に通します。)
- ②リングキャッチで中間バーと懸垂幕を連結します。

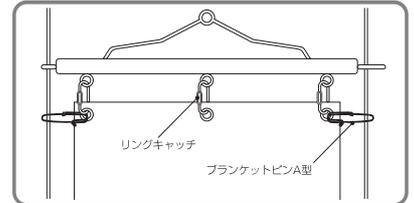
③鉄柱にアイボルト小と溶接ブロック小1台の取付位置を決めます。
一番上のアイボルト小は、溶接ブロック大に近い位置とし、他のアイボルト小は1m間隔程度とします。溶接ブロック小はワイヤーをAKウインチに導く部分に使用してください。



④アイボルト小と溶接ブロック小の取付は、タップ加工をし、溶接をしてください。
注1 サイズ表参照

3 懸垂幕の取付

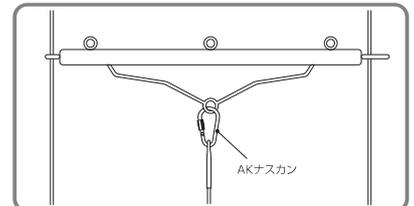
- ①リングキャッチで懸垂バーと懸垂幕を連結します。
- ②ブラケットピンA型でサイドワイヤーと懸垂幕を連結します。



※中間バーを使う場合は**注2**を参照願います。

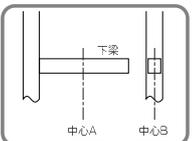
4 吊ワイヤー下ユニットの取付

①懸垂バーのリングにAKナスカン（環付）を連結します。

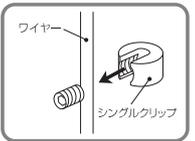


②下梁に貫通穴を中心A、Bの位置に開けます。

注1 サイズ表参照



③ワイヤーを下梁を通して、図のようにシングルクリップを仮固定します。
※シングルクリップ2個を固定する位置によって、懸垂幕の位置が決まりますので、懸垂幕を上げた状態で最後に本締めしてください。



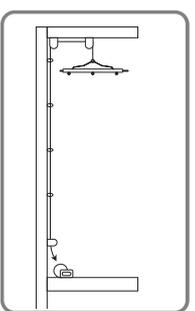
5 AKウインチの取付

①お客様の使用により、AKウインチの取付位置は異なりますので、あらかじめ取付位置をご確認ください。また、AKウインチの挿付、取扱方法はAKウインチの取扱説明書を参照してください。

6 吊ワイヤー上ユニットの取付

①ワイヤー下ユニットと同じようにAKナスカン（環付）を懸垂バーのリングに連結します。

②ワイヤーの反対側を溶接ブロック大に通し、溶接ブロック小へ通し、AKウインチに取り付けます。



7 懸垂幕昇降の確認

- ①AKウインチのハンドルを回して、懸垂幕を上昇させてください。
- ②懸垂幕の昇降を一通り確認したら、設置は完了です。

ご使用されるお客様へ

1. 取扱い方法

① 懸垂幕の昇降

① AKウインチのハンドルは時計回りで懸垂幕は上昇し、反時計回りで下降します。

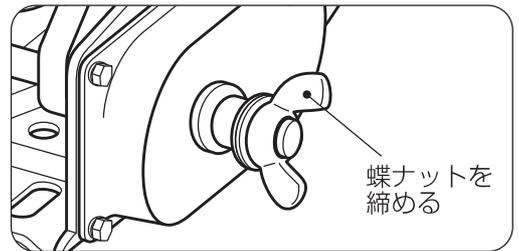
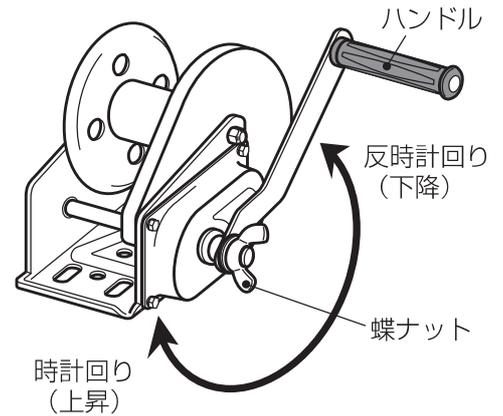
※ AKウインチの取扱いに関しては、AKウインチ取扱説明書をお読みください。

⚠ 注意

- 懸垂幕が上がりきった時点でハンドルの回転をやめてください。無理にハンドルを回し続けるとシングルクリップが外れてしまいます。
- 懸垂幕が下がりきった時点でもハンドルの回転をやめてください。ワイヤーがAKウインチのドラム内で空回りしてしまいます。

② 懸垂幕の昇降をしない時は、蝶ナットを外してハンドルを取り外してください。

外した蝶ナットは再度締めて、ハンドルは使う人がわかる所に保管してください。



② 懸垂幕の取替え方法

① 懸垂幕を下端まで下降させます。

② 懸垂幕と懸垂バー、サイドワイヤーのそれぞれ連結しているリングキャッチ、ブランケットピンA型を外せば懸垂幕を取り外せます。

③ 新しい懸垂幕を取り付けます。

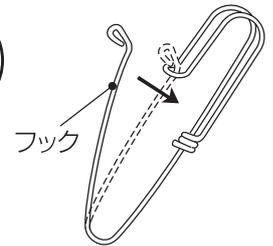
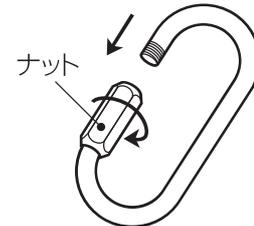
懸垂幕は同じ大きさで、ハトメ位置も同じにしてください。

⚠ 注意

- リングキャッチの固定は、スパナ等の工具を使って本締めをしてください。

● リングキャッチ
ナットを回して外す

● ブランケットピンA型
フックを押して外す



※ ナットが固い場合は
スパナ等で回して外
してください。

2. 点検・メンテナンス

① 点検

- ワイヤーロープに異常がないか。
(摩耗、断線、キック、つぶれ、ほつれ、腐食など)
- AKウインチに異常はないか。
(AKウインチ取扱説明書参照)
- 各部品や連結金具に異常がないか。
(外れ、ねじの緩み、欠損、摩耗による削れなど)

② メンテナンス

- サイドワイヤーが緩んでいた場合 (右図参照)
- パイプターンバックルS型本体の中央の穴にドライバー等を差し込み、図のように回転させてワイヤーを張ることができます。※ 上下にある六角ナットを緩めてから回してください。
- 吊ワイヤー下ユニットのシングルクリップが緩んでいた場合、六角レンチで増締めしてください。
- 吊ワイヤー上ユニットやサイドワイヤーが摩耗によって削られていた場合は、使用を中止し、販売店へご相談ください。
- 万一、本取扱説明書を紛失した場合は、販売店へご請求ください。

